# 一般質問

## 海外からの観光客
## おもてなしの体制づくりを構築
## 外国語観光ボランティアの充実を図る

**山口 幸雄（自民クラブ藤沢）**

**質問** 本市には年間一千五百万人以上の観光客が訪れており、昨今、特に江の島では海外からの訪問客がふえている。その対応として外国語による案内が必要であるが、外国語観光ボランティアの状況について聞きたい。

**答弁** 現在、藤沢市観光協会では、中国語、韓国語ほか九言語によるガイドサービスが可能であり、観光センターでは土日祝日を中心として、英語のボランティアを配置している。近年増加している台湾などから江の島を訪れる団体客がある場合は、島内の案内業務に中国語等で対応している。

**質問** 平日も多数の外国人観光客が江の島を訪れており、観光センターだけでなく、江の島島内にも外国語観光ボランティアを毎日配置すべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答弁** 二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、外国人観光客の大幅な増加に対応できる環境整備は、急務であると考えている。こうしたことから、江の島島内の観光案内所への外国語観光ボランティアの配置については、おもてなしの体制づくりの上で大変重要であると考えており、来年度以降の実施に向け検討していきたい。

海外から多くの観光客が訪れている江の島

## LINEいじめ対策
## 相談体制構築を検討

**松下 賢一郎（藤沢市公明党）**

**質問** スマートフォンの普及によるLINE（※1）でのいじめを解消するため、家庭においてLINEについて話し合える環境づくりに向け、保護者にも働きかけていく必要があるが市の考えを聞きたい。

**答弁** LINEを初めとするSNS（※2）上におけるトラブルの急激な増加に対応するため、その危険性や情報モラル教育の重要性を学校に情報発信し、保護者の意識啓発を図るため、①「LINE安心安全ガイド」を子どもと一緒に確認する②スマートフォンの使用時間を親子で決める③親がLINEについてよく知る――以上三点について学校だよりや長期休業中の生活についてのお知らせなどにより情報提供していきたい。

**質問** LINEいじめがあった場合、証拠となる履歴を残すことを徹底するとともに弁護士等との相談体制を構築すべきと考えるが、見解を聞きたい。

**答弁** SNSを背景とするいじめ等は一人で抱え込まずに保護者、教員及びいじめ相談ホットライン等の相談機関に相談できる環境整備が大切である。平成二十六年度から弁護士や医師、警察関係者等で構成する藤沢市いじめ問題対策連絡協議会を立ち上げており、事例検証や相談体制の構築について検討していきたい。

## 通学路の安全対策
## 登校時の点検も実施

**永井 譲（かわせみクラブ）**

**質問** 通学路の整備は子どもたちの安全を守る上で大切であるが、平成二十六年度の安全対策について取り組み状況を聞きたい。

**答弁** 四月に教育委員会から各学校へ通学路の危険箇所の報告を依頼し、要望の挙がった二百九十五カ所について庁内関係各課で構成される通学路安全対策検討会議で課題を共有した。その後、七月下旬から八月下旬にかけて学校、教育委員会、道路管理者、警察及び保護者等による合同点検を実施するとともに、新たに登校時の点検も行った。

その結果を踏まえ、九月中旬から十一月中旬にかけて検討会議の下の作業部会において、どのような対策が必要か個別に検討を行い、検討会議として各々の箇所についてスクールゾーンの路面表示などの対応案をまとめ、学校、警察等と連携し通学路の安全対策を進めている。

路面表示による通学路の安全対策

**質問** 通学路の安全性を継続的、効果的に確保していくため、どのように取り組むのか見解を聞きたい。

**答弁** 新たな危険箇所を把握するため引き続き合同点検を実施するとともに、交通状況の変化などを確認しながら、学校、教育委員会、道路管理者、警察及び保護者等それぞれが情報を共有し、協力して安全対策を行う必要がある。今後も児童が安心して登下校できるよう通学路の安全確保に取り組んでいく。

## 市内経済の活性化
## にぎわいの創出を

**市川 和広（自民クラブ藤沢）**

**質問** 市内の経済対策を進める上で、来街者が減少傾向にある藤沢駅周辺の商業の活性化が重要であるが、今後の取り組みについて聞きたい。

**答弁** 駅周辺の商業施設の維持・誘導に向けて、商店街等の調査を実施し、商圏形成状況や市場動向予測をもとに、平成二十七年度に「（仮称）藤沢駅周辺商店街にぎわい再生計画」を策定する予定である。市の玄関口にふさわしい商業集積を図ることを目的としているこの計画を、南北自由通路の拡幅やデッキの再整備などの都市機能の更新と一体で進め、駅周辺のにぎわいの創出と市内商業の活性化を図っていきたい。

**質問** 市内全域の経済対策について、今後の取り組みを聞きたい。

**答弁** 市としては、国の消費喚起策に呼応した経済対策を実施することが重要と考えている。

成長が見込まれるロボット、環境・エネルギー分野の産業を初め、創業・新事業の支援などの当面の経済対策に加え、企業誘致を含めた将来に向けての施策を並行して進めることにより、持続可能な産業政策を展開する。

これらの事業については藤沢駅周辺の活性化とともに、二十六年度に見直しを進めている産業振興計画に位置づけ、計画的に取り組むことにより、市内経済の循環を高め、活力と魅力のあふれる湘南の元気都市を目指していく。

## 北部地域の魅力発信と活性化に寄与
## サイクルチャレンジカップ藤沢
## 大会継続による効果の向上に期待

**浜元 輝喜（さつき会）**

**質問** サイクルチャレンジカップ藤沢が初開催されたが、本事業の主目的である北部地域の活性化という観点からどのように総括しているのか聞きたい。

**答弁** 大会には約五百人の選手が参加し、観覧者は約三千人に上った。また、メーン会場の慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内の販売ブースではコース付近の新規就農者が栽培した地場野菜が、飲食ブースでは地元の食材を使った焼きそばや豚汁が販売され、また周辺の飲食店にも回遊があった。参加選手からは「沿道の声援が励みになった」「景色がよくて走りやすい」などの感想をいただき、北部地域の新たな魅力発信と地域の活性化に寄与したものと考えている。

**質問** 次回の開催については、どのように考えているのか聞きたい。

**答弁** レース開催に伴う交通規制により周辺交通環境に影響があったため、参加選手や観覧者、地元住民及び周辺農家など事業を営む方々の意見を集約した上で、今後実行委員会で議論していく。市としても、この事業の効果を高く評価しており、継続することで効果が高まることが期待できるため、今後の支援のあり方を検討していく。

## 子育てしやすい
## まちづくりの推進を

**佐藤 清崇（かわせみクラブ）**

**質問** 少子社会における子育て支援策を今後どのように進めていくのか聞きたい。

**答弁** 平成二十七年度からの子ども・子育て支援新制度の施行に向けて、新たな事業計画の策定を進めているところで、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を継承し、幼児期の教育、保育や地域子ども・子育て支援事業の必要量の見込みや提供体制等を定めることになる。

今後については、これまでの課題を踏まえ、新たな計画を着実に実施し、妊娠、出産期から切れ目のない子育て支援の取り組みを充実させていきたい。

**質問** 出生率向上のためには市として先導的に取り組む必要があり、若い世代が子どもを産み、育てやすいまちづくりについて、市の考え方を聞きたい。

**答弁** 出生率は、晩婚化・晩産化、女性の労働環境及び教育に要する経費等の要因が複雑に絡むとともに、ライフスタイルや価値観とも密接な関係がある。

本市は、利便性の高い交通網や豊かな自然環境、充実した商業施設を有していることから、子育て世代を初め、さまざまな世代から選んでいただける強みがあり、今後シティプロモーションを推進する中で、生産年齢人口の拡充と出生率向上につながる取り組みを進めていきたい。

## 街なみ百年条例
## 住民提案制度活用を

**有賀 正義（改進無所属クラブ）**

**質問** 街なみ百年条例では良質な街なみ形成に関する取り組みが積極的に行われている地域を住民提案により街なみ継承地区に指定できると定められており、その仕組みを周知する必要があると考えているが、見解を聞きたい。

**答弁** 条例に基づく住民による提案制度の活用を図るために市民団体等に広く周知することは大変重要であると考えている。

この制度をわかりやすく解説し、住民提案制度の仕組みや街なみ継承地区指定までの事務手続きなどを紹介するためのリーフレット等を現在作成しているところであり、ホームページへの掲載とあわせて広報に努めていく。

**質問** 市民主体のまちづくりにおいて、住民提案制度は、庁内連携と支援体制が不可欠と考えるが、市の考え方を聞きたい。

**答弁** さまざまな住民等の提案に対応する庁内連携は重要である。街なみ継承地区の指定に向けた藤沢宿での取り組みと同様に、庁内調整会議を設置するなどの支援体制を構築していく。

また、指定に向けた住民等との協議を進める中では、区域設定の考え方や町の将来像を示したガイドラインの策定、提案に必要な土地所有者等の合意形成の進め方などについて、アドバイスを行うとともに、住民等への技術的な支援として、専門家の派遣等についても検討を進めていく。

（※1）LINE…いつでも、どこでも、無料で通話やメールができるコミュニケーションアプリ。
（※2）SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。